

皆さん、おはようございます。

まもなく梅雨明けを予感させる気配が感じられるとともにあっという間に 7 月となりました。

新年度が始まってから 3 カ月が経過しましたが、今日のこの日は「平戸市職員自戒の日」です。これは過去の市職員による「不祥事」を機に、重大な使命と責任をもって行政を行なう公務員として、市民の皆様の期待と信頼にしっかりと応えることが出来ているかどうかについて改めて自己反省を行うこととした節目の日です。

先月は東京都知事による政治資金の使途についての疑念が多くメディアによって明るみになり、都議会での責任の追及や多くの都民からの痛烈な批判にさらされ、その混乱による責任を問われる形で辞職に追い込まれる事態となりました。公用車の使用や海外出張費などが民間感覚から乖離しており、それらは条例に基づきかつ都議会からの承認を受けているのだからと勘違いして、まさに「これくらいいいさ」という自制心の弱さから公私混同と糾弾されたのです。

私たちは、これを『他山の石』として学びながら襟を正し、緊張感をもって日常業務に当たらなければなりません。現時点においては、市民の皆様の信頼を失墜させるような深刻な事案は見受けられませんが、ちょっとした油断や自分への甘さ、緊張感の欠如が後になって取り返しのつかない不祥事の種になりかねません。

人間とは悲しいもので、慣れた頃にこそ傲慢さが出てきたり、油断したりするものです。気を引き締めて決意を新たにしていまいりましょう。

また職業倫理を胸に刻むだけでなく、この三ヶ月を振り返って自分の仕事ぶりはどのように進んでいるかを点検することも重要です。

物事がうまく進んでいないことを「何かのせい」「誰かのせい」にしませんか？ 時にはふと立ち止まって自己検証することも大切ですが、それと同時に幾つもの会議を重ね論議を深めてスタートした事業については、できるだけ早く確実に成果を導き出していくスピードある動きもこれまた重要なことです。

それは結果として山積する業務を的確にリズム感をもって解決していく原動力になるからです。振り返ってみると「なんであの時、もたついていたんだろう」と思うことは誰にでもあることで、そんな時こそ失敗を恐れず思い切って一步を踏み出してみることも大切です。そのためには「報告・連絡・相談」を欠かさず、積極的に笑顔で取り組む姿勢が前提となります。

さて先月末に本市は、ふるさと納税制度の活用でご指導ご協力を頂いた株式会社トラストバンクと正式に包括連携協定を締結しました。

これは、人口減少や産業振興などで悩む地方自治体が、IT企業のトップリーダー的存在である同社と相互連携を図ることで課題解決に取り組むことを念頭に置いており、相互の人事交流を含めて緊密に連携するのは他に例がないことと思います。

またこれに先立って、本市のふるさと納税制度の推進に新たな視点を加え、カタ

ログポイント制によってその寄付額を日本一に押し上げる実績を収めた財務部企画財政課の黒瀬主査を、同社に研修派遣を命ずる旨の辞令を交付しました。

私は辞令を交付するに当たって「これまでの実績の次にあるものを探してほしい。そして民間企業の研ぎ澄まされた経営感覚の中に身を置き、平戸市のために何ができるか研鑽を重ねてほしい」と激励しました。

彼以外にも本市職員のうち数名の諸君は、今や他の自治体からも一目置かれる業績を上げるほどのスキルアップが図られていることを、私も各方面から聞き及んでいます。また過日、若い職員たちが自主的に研修会を開催し、それぞれの使命感を共有しながら情報交換をしたことも聞きました。

制度や予算だけで物事が劇的に進むとは思いません。なぜならそれはどこの自治体や企業でもやっているからです。そこに明確な差異が生じ、一步先を抜き出るかそうでないかは、そこに『任せるに相応しい人』がいるかいないかです。つまり同じ制度や予算でも誰がやるかによって大きく差が開いてきます。その横並び集団をリードしていけるような人材に一人ひとりが育ってほしいと強く望みます。

また、トラストバンク社との協定では相互交流となっており、同社社員が本市にも派遣されました。硬直しがちな行政組織に別世界からの人材が混じり合うことによって、期待される化学反応が起こり、柔軟で適応能力の高い組織に進化していただきたいと思います。

「グローバル化」という言葉が日常に聞かれるようになって久しいですが、私たちの身近な生活も否応なく世界規模の変化に巻き込まれる時代です。英国のEUからの離脱が日本経済にも大きな影響をもたらすとともに、円高傾向は貿易収支のみならず海外旅行者の動向も左右します。

今回の衝撃が、本市が進めてきたこれまでの施策にどのような変化をもたらすのか、しっかりとした情報収集をはじめ検証をしながら対応しなければなりません。世の中は「諸行無常」です。常に変化が伴います。そのためには的確な「情報収集」→「判断」→「行動」が不可欠です。それぞれがアンテナを高く伸ばし、情報分析を行いながら、行政判断や施策構築にコミットしていただきたいと思います。

いよいよ灼熱の太陽の日差しとともに夏が到来します。平戸市にとって魅力の一つである美しい海と砂浜がメインステージにもなります。これら地域資源をフルに活用し、観光客の方々に素通りされないよう美味しいグルメや物産品の魅力も発信しながら、地域活性化につなげていきましょう。

そして皆さんも夏バテになることなく、暴飲暴食をつつしみながら各自の健康管理に気をつけてください。

改めて冒頭の「自戒の日」の意味を胸に刻みながら、爽やかな夏となるよう更なるチャレンジに向けて頑張りましょう。

平成 28 年 7 月 1 日

平戸市長 黒 田 成 彦